

# 経営学部 リフレクションペーパー

2015年度 <前期>

教員氏名 大内 秀二郎
担当授業科目名 (科目① 曜日・時限) 商学A (火曜5限)
(科目② 曜日・時限) 流通システム論I (水曜6限)
(科目③ 曜日・時限) 流通システム論I (金曜3限)
1. アンケート結果に対する総評 流通システム論I (水曜6限クラス8.8, 金曜3限クラス8.1) については, 昨年度 (水曜6限クラス8.8, 金曜3限クラス8.1) と同様の評価であった。自由記述欄においては「分かりやすい」という好意的なコメントが多く見られた一方で, 特に金曜クラスにおいて一部受講者の私語に対する苦情が散見された。 商学A (8.3) は昨年度 (7.9) より評価が向上した。今年度は授業方法を大幅に改め, BYODのスタイルでスマートフォンを活用したクリッカー・システムを試験的に導入した。また, これに伴い授業中スクリーンを常時降ろしておく必要が生じたため, 黒板への板書を全面的に排し, 代わりにパワーポイントのスライドショーを使用した。その結果, 総合評価点の向上の他に, 「黒板の板書やパワーポイントなど資料の提示は明瞭でしたか」, 「教員は授業の準備を十分にしていますか」, 「授業で使用した教室の設備・環境は良かったですか」の各設問に対する評価点が向上した。また自由記述欄においては「全学生を授業に参加させようとする発想が素晴らしいと思った」, 「スマートフォンを使ったり, パワーポイントもわかりやすくて, 授業が楽しかった」など, 授業方法を好意的に評価したコメントが多く見られた。 (※ カッコ内は各科目の10点法による評価の平均値)
2. 授業を行う上で工夫した点, 良かった点 流通システム論I では, 従来と同様に, 新聞記事や映像などの資料も交えながら, 理論と実践の両面から流通の全体像を理解できるように心がけた。ほぼ例年通りの評価を得ることができたことから, この方針は特に問題がなかったものと考えている。商学Aについては, 上述の講義方法の改定が, 一定の成果を挙げたと考えている。なお, 今年度の商学Aでは, 映像資料を昨年度よりも多く取り入れた。これは, 商学Aが1年生のクラスであることから, 商業理論の厳密な説明に拘泥せず, 実社会における商業現象に対する関心の喚起に重点をおいたためである。ただし, 「授業に刺激され授業内容に興味をもつようになりましたか」という設問の評価点については, 昨年度と有意差はなかった。
3. 今後の改善点 流通システム論I では, 私語をする学生に対して厳正な態度で臨み, 静粛な講義環境の維持に努めたい。商学Aでは, 授業方法の改善が必ずしも関心の喚起や理解度の向上につながっていないと思われるため, 授業時間外の学習を促すなどさらなる改善を図りたい。